

平成30年度 事業計画

【事業の基本方針】

本会は、沖合底びき網漁業を経営する漁業会社を「社員」とした団体として昭和37年に設立され、本年度設立57年の歴史を刻むことになりました。この間に、漁業をめぐる情勢は刻一刻と変遷を重ねました。

本道における沖合底びき網漁業で漁獲される底魚は、マスコミ等で紹介された通り最もダイオキシン濃度の低い、安心・安全なものとして、注目を浴びています。「健康志向」・「和食」など魚食に対する世界的な天然水産物をめぐる需要の増加は、需給バランスの急激な変化をもたらし、価格の不安定さを招いております。

本会は、資源の管理並びに国民に対する安定的な水産タンパク質源供給に向け、諸事業を推進することで本道機船漁業を支援し、沖合底びき網漁業の維持と安定に資してまいります。

【事業項目】

1. 資源管理型漁業の確立対策

- (1) TAC、TAE制度運用等の啓蒙指導
- (2) 漁業資源管理の調査研究及び助成等

2. 漁業資源増大対策

- (1) 底魚等の資源増大事業への助成並びに資源回復に関連する会議等への参加、参画
- (2) 北方水域の水産資源に関する調査研究への助成並びに関連する研究会等への参加、参画

3. 漁業経営安定対策

- (1) 底魚の鮮魚流通・普及並びに付加価値増大に関連する事業の取り組み
- (2) 北方水域の水産資源に関する調査研究への助成並びに関連する研究会等への参加、参画

4. 国際漁業対策

- (1) ロシア・韓国・中国等極東地域との漁業・経営交流の促進
- (2) ロシア・韓国・中国等極東地域との漁業・市場動向の調査情報提供等
- (3) 政府間並びに民間の日・ロ共同科学調査事業などの支援

5. 安全操業対策

- (1) 漁船海難防止対策の推進
- (2) 乗組員の安全操業に関する啓蒙指導

6. 各種保険商品・制度の維持・安定強化

- (1) 各種保険への加入促進
- (2) 保険事務担当者会議の充実

7. ロシア漁業ニュース

各関係機関からのニーズの高まりを受け、毎月発行を継続、実施していく

平成30年度収支予算書

平成30年1月1日から平成30年12月31日

全会計

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
制度運営収入	780,000	780,000	0	
対人補償救助収入	380,000	400,000	△ 20,000	
不稼働損失収入	320,000	300,000	20,000	
海外操業収入	80,000	80,000	0	
雑収入	325,000	305,000	20,000	
受取利息収入	5,000	5,000	0	
雑収入	320,000	300,000	20,000	
事業活動収入計	1,105,000	1,085,000	20,000	
2. 事業活動支出				
事業費支出	566,000	766,000	△ 200,000	事業費予算内訳 566,000
旅費交通費支出	500,000	700,000	△ 200,000	指導事業費 46,000
印刷製本費支出	45,000	45,000	0	国際交流対策費 300,000
雑支出	21,000	21,000	0	資源開発・調査研究費 200,000
管理費支出	736,000	736,000	0	その他会計 20,000
会議費支出	10,000	10,000	0	
接待交際費支出	10,000	10,000	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	15,000	15,000	0	
印刷製本費支出	0	0	0	
光熱水料費支出	62,000	62,000	0	
賃借料支出	482,000	482,000	0	
保守料	50,000	50,000	0	
租税公課支出	72,000	72,000	0	
雑支出	35,000	35,000	0	
事業活動支出計	1,302,000	1,502,000	△ 200,000	
事業活動収支差額	△ 197,000	△ 417,000	220,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△ 197,000	△ 417,000	220,000	
前期繰越収支差額	22,355,000	22,772,000	△ 417,000	
次期繰越収支差額	22,158,000	22,355,000	△ 197,000	